



THEY'S MEN'S CLUB OF FUJI-GOKO

創 立 2003年3月12日 3041-1, UCHINO, OSHINO-MURA,

MINAMITSURU-GUN, YAMANASHI-KEN,

チャーターナイト 2003年5月10日 PHONE 0555-84-4233

2020年 富士五湖クラブ 7月ブリテン 第189号

会長	後藤昭子
副会長	原 俊彦
副会長	望月 勉
書記	後藤明久
会計	望月喜代子
会計	武藤五子
直前会長	望月喜代子

国際会長 : Jacob Kristensen (デンマーク)

「価値観、エクステンション、リーダーシップ」

アジア太平洋会長 : David Lua (シンガポール)

「変化をもたらそう」

東日本区理事 : 板村哲也 (東京武蔵野多摩)

「変化を楽しもう」

あずさ部長 : 御園生好子 (東京サンライズ)

「変わるに挑戦！」

富士五湖クラブ会長 : 後藤昭子

『前向きに前向きに 今日笑顔で絶好調！！』

7月 キックオフ例会

2020年7月10日(金)PM7時30分～

於 : ふれあいセンター

開会点鐘 望月(喜)直前会長

ワイズソング&ワイズの信条

会長バッジ引継ぎ

新会長あいさつ 後藤(昭)会長

議事

ニコニコスピーチ

YMCAのうた

閉会点鐘 後藤(昭)会長

2020-2021 年度会長

Acco

『前向きに前向きに

今日も

笑顔で絶好調』



コロナウイルスの影響で今までは普通に会って会合を持って、イベントを開催してと、あたりまえに行われていたことがあたりまえでなくなった現在。

理事主題の「変化をたのしもう！」

あずさ部部長主題の「変わるに挑戦」

まさしく主題の通りの現在になりましたね。

ものごとを前向きに前向きに

まずはできることから始めてみよう！！

クラブメンバーとの交流の在り方、他クラブのワイズメンとのつながり、イベントの持ち方を考えて実行していくことが大事だと思います。

会えない時間はネットを通じての交流を図る。(Zoom 例会や Facebook での近況報告 etc)

6月のデータ

会員数 11名

例会出席 10名

コメント 1名

ほかにもいいアイデアがあったら教えてください。

事業・行事

・4月に開催予定だった第10回障がい者フライングディスク大会はコロナウイルスの影響で延期となり、今後どうなるかは県のフライングディスク協会と調整中です。

・9月末に富士山5合目で開催予定の第18回富士山例会は中止します。

富士山例会に代わるイベントが開催できないか検討中です。

新型コロナの感染拡大の影響で新年度の活動はどうなるのだろうか？

今年度は何もできないじゃないのという不安も…

軒並み開催予定のイベントが中止となり、では何をするの？

メンバーのより一層の濃密なつながりを図る。コロナの影響で良かったことは、お試しでネット例会を行うことができ、現地に集えないメンバーがネットを通じて例会に参加できたこと。クラブメンバーは優秀なので全員がネットで参加できました。また他クラブのワイズメンにも参加の声掛けをして参加してもらえたこと。こうしたネットを通しての例会ができれば遠路で参加できないメンバーはネットで参加することも可能だし、DBC先の京都洛中クラブともネット例会という形でお互いの例会に参加しての交流が図れるのでは。また、あずさ部をはじめとする他クラブへの例会参加も自宅に居ながらにして参加できるのでないかと思えます。

コロナに負けるな！「今日も笑顔で絶好調！！」
皆さま、1年間どうぞよろしくお祈りします。



今月のハッピーバースデー

7月18日 後藤明久さん

7月30日 望月 勉さん

おめでとうございます。

アニバーサリーはが該当がありません

6月第1例会報告

2020年6月12日(金)20時～

参加者：望月2、原2、後藤2、三浦、
(zoom)茅野、須藤、武藤

ふれあいセンターが縛りがあり使用できないとのことで、今回は事務連絡会というのもありサイゼリアで簡単に連絡会をして、そのあと懇親会の予定でしたが、サイゼリアは凄い混みと閉店時間が早いということで急きよ、望月宅での開催となりました。

Zoomもセットして遠方のメンバーはオンライン参加で行いました。主に26日の定期総会の原稿依頼、内容の打ち合わせと、メンバーの近況を報告でした。

伊東にいる須藤メンもZoomデビューを果たしました。これでメンバー全員がネット＝オンライン例会デビュー。やったね！



6月第2例会 定期総会

日時；2020年6月26日（金）20時から21時
場所；富士吉田市ふれあいセンター（オンライン併用例会）

参加者；望月2、原2、後藤2、三浦、武藤+マキちゃん。オンライン；須藤、福田

ふれあいセンターが条件付きで使用できるということで定期総会を開催しました。2Fの大会議室で密にならないように席を離して窓を開けて、出席者全員の氏名住所連絡先、体温を測る、スリッパ持参で、かつ9時退所で大急ぎでした。

時間が限られているので、すぐに定期総会に入りました。後藤がZOOM準備し、Accoさんが開会宣言をし、望月喜代子会長の挨拶で始まりました。議長は恒例で会長となり、会員11名出席者8名で3/2以上の出席で総会は成立とAccoさんが報告、喜代子会長の総会成立宣言がありました。閉会宣言して、議事に入りました。

1. 2019-2020年度事業報告がなされ、昨年事業はフライングディスク大会を除いてはできた。2月からは例会が通常開催できなくなった。4月の第10回フライングディスク大会が延期となった。チャリティーランやあずさ部評議会なども延期・中止となり、ZOOMを使ったオンライン交流も進んだ。

委員会報告については、書面で確認してください。

2. 2019-2020年度会計決算報告が、会計の武藤メンからありました。今年度はフライングディスク大会の延期もあり、未開催分が残った。あずさ部からのCS助成金は未執行分5,145円はあずさ部会計に返却となりました。その他異議なく承認されました。

3. 新役員選出、議案通り承認され、次期会長は後藤昭子メン（Accoさん）になりました。

4. 新会長挨拶 Accoさんから、主題【前向きに前向きに 今日笑顔で絶好調！！】とし、まずはできることから始めてみよう！！他のク

ラブのメンバーとのつながり、イベントの持ち方を考えて実行していくことが大事で、Zoom例会やFacebookでの近況報告などネットを使った交流も図る。今年度は山小屋の休業に伴い、富士山例会は中止で、フライングディスク大会も調整中です。メンバーのより一層のつながりを図っていきたいと思います。よろしく願いいたします。

5. 2020-2021年度行事予定案審議。富士山例会が中止なので、代わりに10/24-25（土日）に伊豆高原での移動例会を企画する。2月13日（土）あずさ部第2回評議会は富士五湖クラブのホストです。3/27-28（土日）京都洛中とのDBC交流会で京都に皆で行こう。第10回フライングディスク大会は4月24日で調整する。全体として打ち合わせしていきながら進めることで承認された。



6. 2020-2021年度委員会別事業計画案審議。異議なく承認された。

7. 2020-2021年度予算案。次年度は東日本区費が免除となり、例年より減額された予算案となり、異議なく承認された。3/27DBC交流会などの旅費補助はファンドから支出する。

8. その他。特になく、福田担当主事からはYMCA新会館での映像を混ぜながらアピールがあった。伊豆高原の須藤メンからは伊豆高原のキャンペーンなどを利用して楽しい交流が

できればとの話がありました。会場の都合で午後9時退所なので、終了し、片付け・除菌して解散となりました。時間の許す方々は恒例のサイズで懇親を図りました。お疲れ様でした。

《新年度抱負》

茅野信雄

筑波赴任以来、例会に参加できませんでしたが、コロナの意外な影響で、ZOOMで参加することができるようになりました。今年度もこの方法を続けることができれば、例会参加の機会を増やしていきたいと思います。

望月喜代子

クラブ会長が終わり、ほっとする間もなく、新年度はあずさ部のCS、Yサービスの主査となります。あずさ部各クラブがしているCS活動には、良い機会として、なるべく積極的に参加したいと思っています。ワイズメンズクラブに入会して16年。初めての主査を楽しみたいと思います。

原 俊彦

フライングディスク大会、東日本区大会、更には毎月の例会さえまともに開催出来ない・・・新型コロナに振り回されたアットという間の6ヶ月でした。今年もかなり活動が制限されると思いますが、恒例の移動例会そして京都洛中クラブとの交流会の2つだけは是非とも実現して欲しいと思っています。

武藤五子

新型コロナウイルスの感染の収束を祈らずにはいられない新年度に入り、何ができるかな？と考えると、体調に気をつけて笑顔で過ごすことが、今の最大の目標で願いです。この時を越えたら、その先にはまた楽しい計

画をたてられる日がきっと来るでしょう。頑張ります。

望月 勉

フライングディスク大会を必ず開催する。富士山例会をもう一度検討し、煮みる。移動例会を実行する。バーベキュー例会を2回やる。他クラブのCSに参加する。

須藤 繁

新入生として
新年度はズーム利用という新しい方法での参加ということになると思いますが、なにせ遠く離れているので、どこまでその参加の枠を広げられるかという点で、私自身まだ大分迷いがあります。これからズーム参加をする毎に、あれやこれやと考えていくしかないかと思っています。ただ、茅野さんという同じ境遇の方、しかもSNSに強い人がいるのが希望の星です。後藤さん、茅野さん、よろしく！

原

三浦洋美

昨年度はコロナウイルス感染拡大により障害者フライングディスク大会が出来ませんでした。

CS 委員として楽しみにして下さった方々の為に今年度は必ずや10回記念大会の開催をしたいと思います。

コロナが完全に収束するのは難しいのかもしれませんが、工夫をこらし参加する皆様に思いっきり楽しんでいただけるような大会に
武

原 淑子

今年度は、コロナの影響で行事がどの程度行う事が出来るか分からないので、例会・オンライン例会で、メンバーの繋がりを楽しみます。オンライン例会で他クラブ訪問（DBCも）とか、合同例会はどうなのかな・・・？

小池亦彦

今年は片寄らず、パラレルワークを実践します。

後藤明久

コロナによるソーシャルディスタンスをとる活動は非常に難しく、ワイズ活動に限らず全ての人の生活に影響を与えています。何もしなければ、経済は縮み、そとに出なくなります。新しい生活様式と活動方法を模索していきたいと思えます。

富士五湖クラブでは、5月から始まった例会にズームを使ったオンラインでの交流や会合を進めて、遠くの方や日頃会えないメンバーとも、交流が進んでいます。

現実と映像ともに『会う』ことで、更に会員間の距離は縮み、より知る機会が増えています。このような新しい方式を取り入れて、新時代の活動を進めていきたいです。宜しくお願い致します。

Acco

色々振りかかってしまってことを嘆くより新型コロナに続く、天候不順。すぐにめげて折れそうになってしまう私たち。

「口角を上げて笑ってごらん！」頭が勘違いして楽しくなってきたぞ！ 笑うのが一番！

「今日も笑顔で絶好調！！」言ってごらんほらね、だんだんそんな気になってきたよ。気功の教えを実践して毎日を元気に楽しく活きましょう。前向きに前向きに…



あずき部次期役員顔合わせ会

2020年6月25日(木)にzoomによる次期役員の顔合わせ会を行ないました。富士五湖からはAcco次期会長、喜代子次期CS主査が参加しました。



ワイズメンズクラブ東日本区理事就任式

2020年6月29日(月)に四谷の東日本区事務所において理事就任式が行われました。

一般のメンバーはzoomを通して視聴することができました。山田理事、1年間お疲れさまでした。板村新理事、よろしくお願いします。



国際会長、国際役員、国際議員の就任式

2020年7月4日(土)に国際の就任式が行われました。本来ならば8月の国際大会で行われる予定とのこと。こちら zoom にて視聴させていただきました。神戸ポートクラブの大野 勉さんも次期アジア地域の会長として国際議員に就任されました。おめでとうございます。



『あれやこれや』

<子ども一人が育つには>

YMC A生涯学習事業部
ディレクター 福田奈里子

2020年5月1日、コロナパンデミックの不安定な社会状況の中で、山梨YMC Aの新会館がオープンしました。真新しい会館を前に、そこで繰り広げられる物語を想像して、身が引き締まる思いと、そこに関わることの責任と喜びをかみしめる…暇は実はあんまりなくて、とにかく50年分の荷物の引っ越し作業と新館オープンのための準備をあわただしく終え、コロナ対応を行ないながら新年度を6月1日にスタートさせ、様々なプログラムが無事に動き出した今、ようやく「新しいところで動き出したんだなあ」ということをしみじみ味わっています。

「子ども一人が育つには、村が一つ必要だ」という、アフリカの諺があるそうです。昨年11月に開催されたYMC A主催の子育て支援講演会で、児童精神科医の田中哲先生が講演の冒頭でお話くださいました。一人の子どもの育ちには、様々な人との「関わり」が必要で、そういった人々の集まりーコミュニティの中でこそ子どもは豊かに育つのだ、という意味です。初めて聞いてずっと心に残っていました。

今、YMC Aでは、ステイホームで家にいた子どもたちが戻ってきて毎日わいわいがやがやとしています。新事業の高齢者デイサービス「オリーブの木」の利用者さんがスタッフに支えられながら廊下を歩き、保育園では0歳児の赤ちゃんがハイハイしながらニッコリ笑って、障がいを持つ子とそうでない子が一緒に積み木で遊び、それをフィリピン人スタッフが見守り、保育園2階の地域交流室では黒人の英語講師の膝の上で絵本を読んでもらう子どもの姿が見られます。BGMは本館3階ベテルホールから聞こえる元気な高齢者のプログラム「いきいき歌声広場」の皆さんの歌う唱歌です。

この会館の名称は「グローバルコミュニティセンター」です。老若男女、国籍も年齢も障がいの有無も関係なく、すべての人たちが集い、一つの「村」ーコミュニティを作ろうとしています。集っているすべての人が村人です。

「子ども一人が育つには、YMC Aが一つ必要だ」…って、地域の方から思ってもらえるような場にしたいです！

《山梨 YMCA だより》

〈子どもたちが帰ってきた！〉

露木総主事

久々に子どもたちの声が帰ってきました。緊急事態宣言が解除となり、学童保育と発達支援の子供たちが学校再開になったのを受けて、まだ7割ぐらの利用ですが、戻ってきています。「すげえ」「めっちゃきれい」「エレベーターがあるよ」などとはしゃぎながら、館内をくまなく探検しています。今までいた子たちに交じって、初めて来た1年生も戸惑いながら黄色い帽子をかぶって、大き過ぎるランドセルをしょってやってきました。やはりYMCAには子どもが似合います。その声を聞くと何ともほっこりとした気分になります。今までになく一人一人がいとおしく、ありがたい存在に感じられます。

一方で1階の西側半分にあるデイサービスセンター「オリーブの木」は、オープンはしたものの、まだ利用がなく閑散としています。すでに準備万端、いつでもお風呂に入れる状態ですが、このコロナ騒ぎで、新規利用者の気配は遠のいてしまいました。理想に掲げた「お年寄りと子供が家族のように一緒にくつろぐことができるYMCA」の実現が待ち望まれます。

とつても快適な、便利できれいになった新しいYMCAを、早くいっぱいになりたいと、はやる気持ちを抑えつつ、今私たちがやるべきことを模索する毎日が続きます。コロナウイルスはそう簡単にはなくならないでしょう。ウィズ・コロナ。いかにコロナ渦の中で生き抜くか。コロナ渦の中にいる人々を勇気づけられるか。YMCAでなければできないことがきっとあるはずです。それが何なのか、まだはっきりとは見えてきませんが、まずは地域の人々とつながろうと思います。足を運び、皆様の声を聴き、こちらからできることを発信しなければなりません。YMCAの行動指針LOVE (Life support、Outreach、Volunteer、Education)の初心に立ち返って、まずはOutreach、地域に根差すところから始めます。

最後に、もう一度、募金のお願いをさせていただきます。ご他聞に漏れず、山梨YMCAもコロナの影響下による減収は避けられず、建築資金にも少なからず影響を受け、多額の借入金を起こしております。何卒、何卒、この神の家の建設に対しまして、皆様から愛のお志しをお寄せいただきますようお願い申し上げます。

これからの予定

7月10日(金)	キックオフ例会	ふれあいセンター
8月8日(土)	納涼例会	原別荘
8月28日(金)	8月第2例会	ふれあいセンター
.....		
10月17日(土)	あずさ部部大会	
10月	伊東移動例会	
1月	新年例会	
2月13日(土)	あずさ部第2回評議会	*富士五湖クラブがホストです
3月27日(土)	京都お花見例会	*京都洛中クラブとのDBC例会
4月24日(土)	第10回障がい者フライングディスク大会	